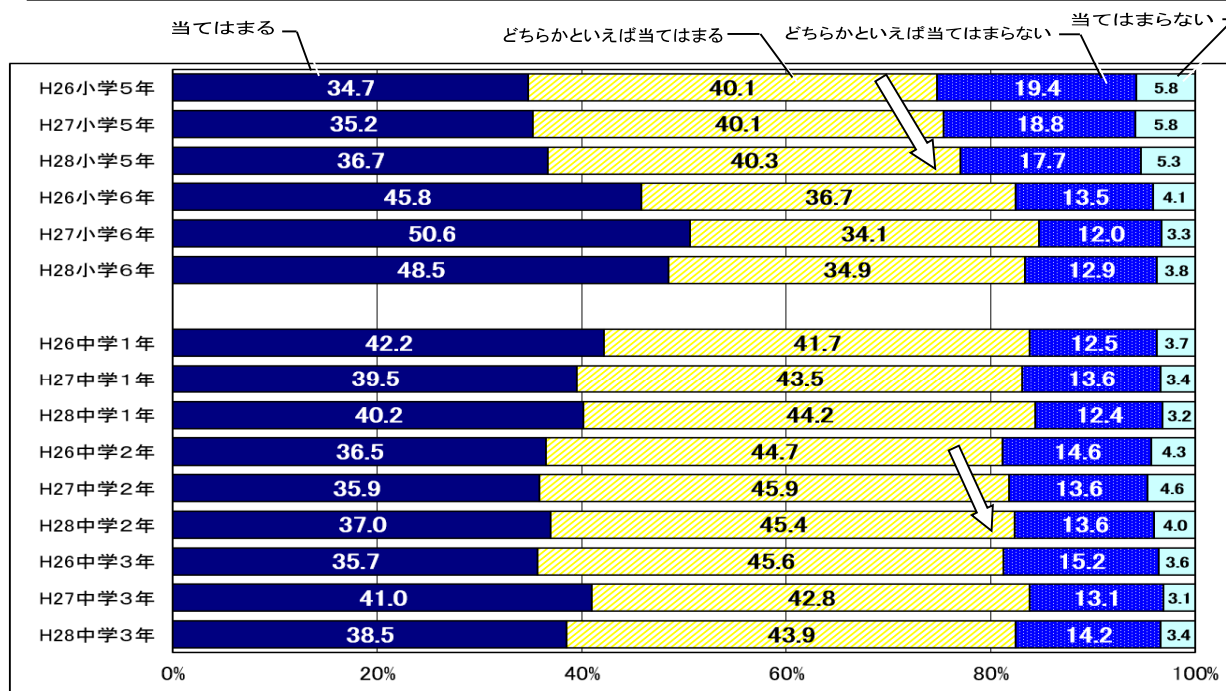


(2) 学校での学習について

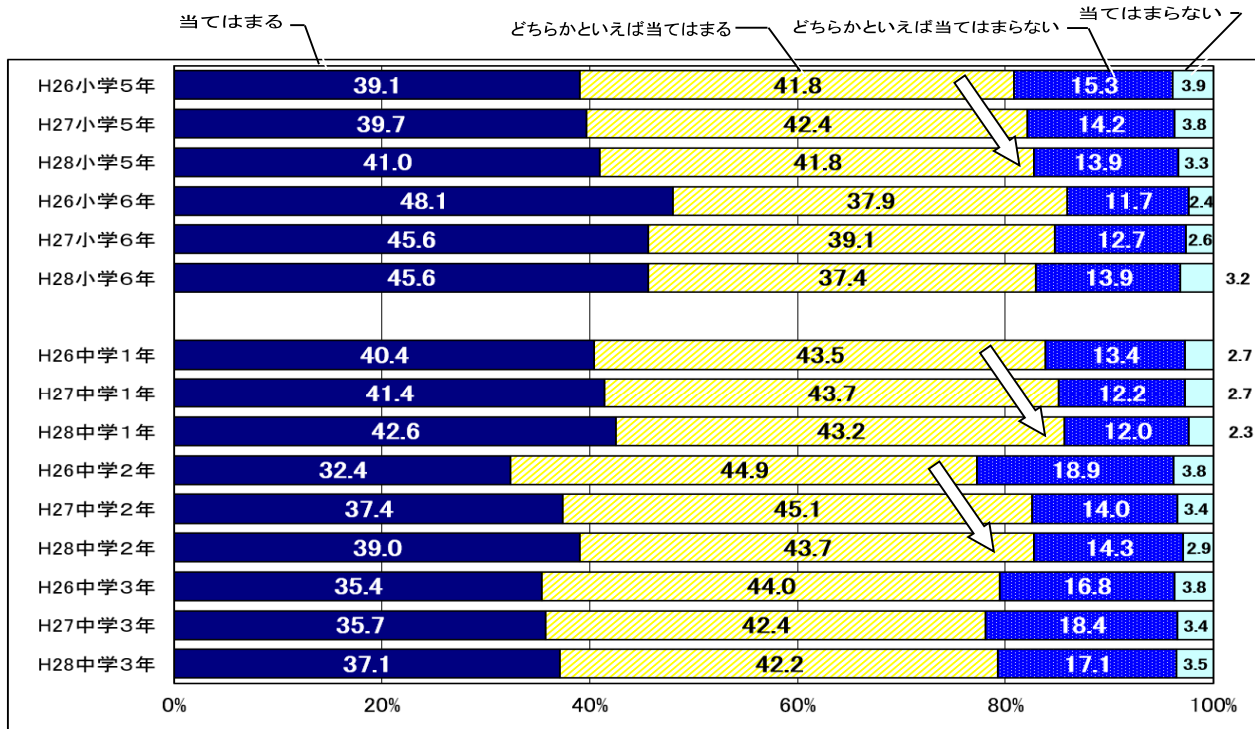
- 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学5年、中学2年で増加している。中学1年では、前年度を上回っている。「授業では、学級の友達（生徒）の間に話し合う活動をよく行っていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学5年、中学1年、中学2年で増加している。中学3年では、前年度を上回っている。いずれの問いについても、肯定的な回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。  
[グラフ 16-1、16-2、17-1、17-3]
- 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、全ての学年で減少している。否定的な（難しくないと）回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 18-1、18-3]
- 「授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、調査対象の全ての学年で増加している。また、「そうした授業を受けたことがない」と回答した児童生徒は1%弱まで減少している。[グラフ 19-1]
- 「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、概ね8割～9割である。小学校では、肯定的な回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 20-1、20-2]

[グラフ 16-1] 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。

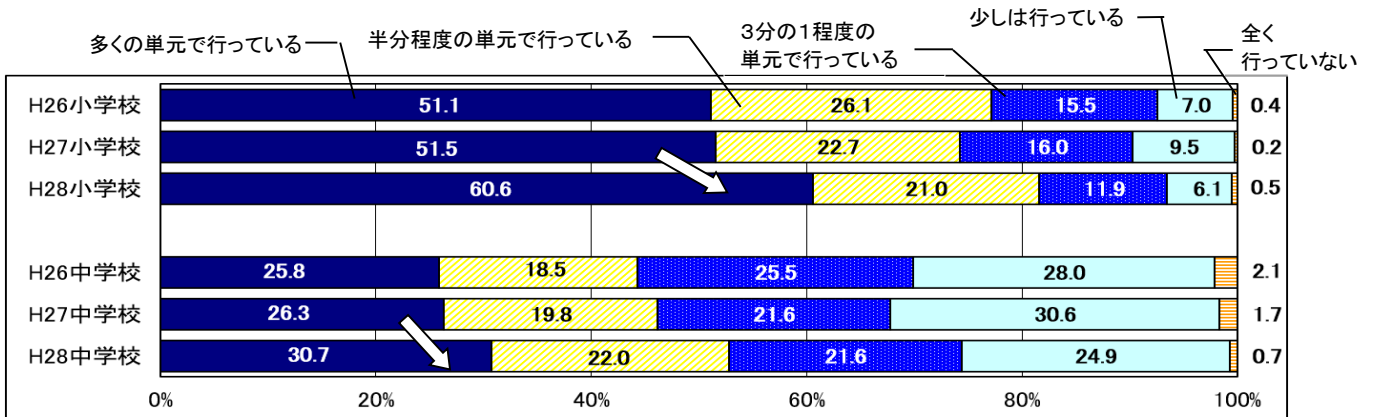
平成 26～28 年度「同一学年」の経年比較



[グラフ 17-1] 授業では、学級の友達(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていると思う。  
平成 26～28 年度「同一学年」の経年比較

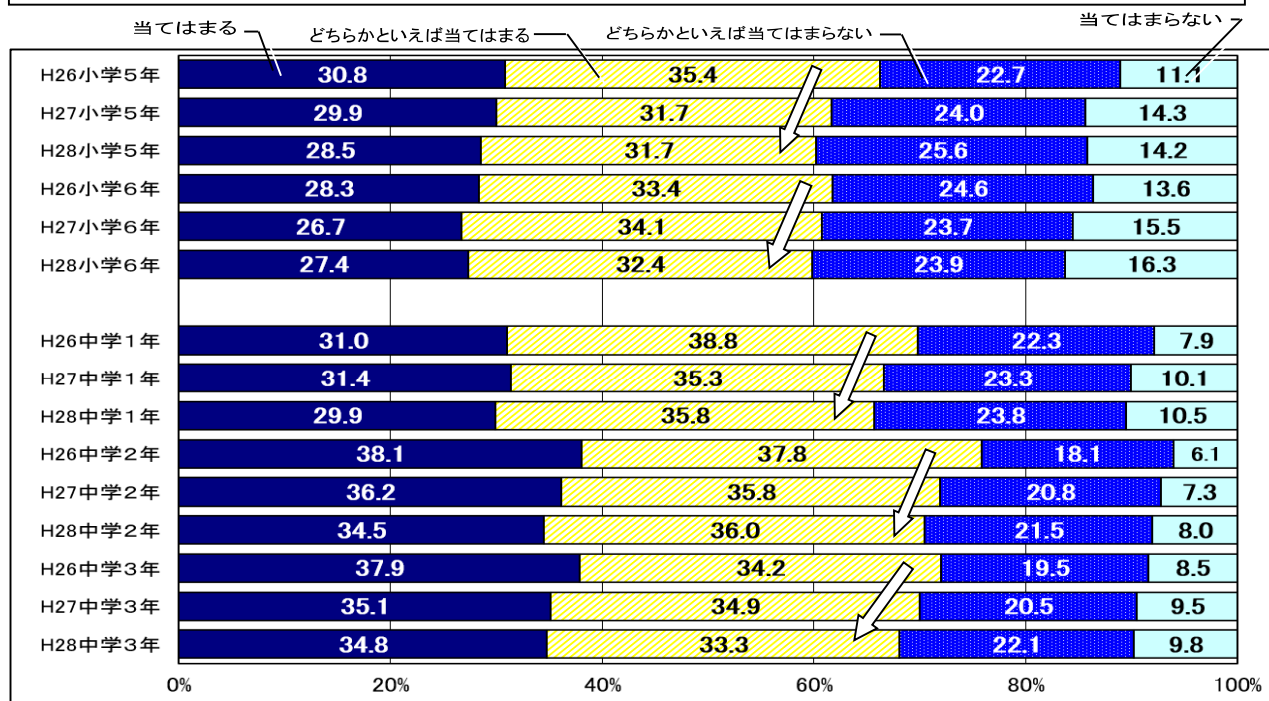


[グラフ 17-2] 発表や話し合い活動など表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を行っていますか。※教師意識調査より 平成 26～28 年度の経年比較

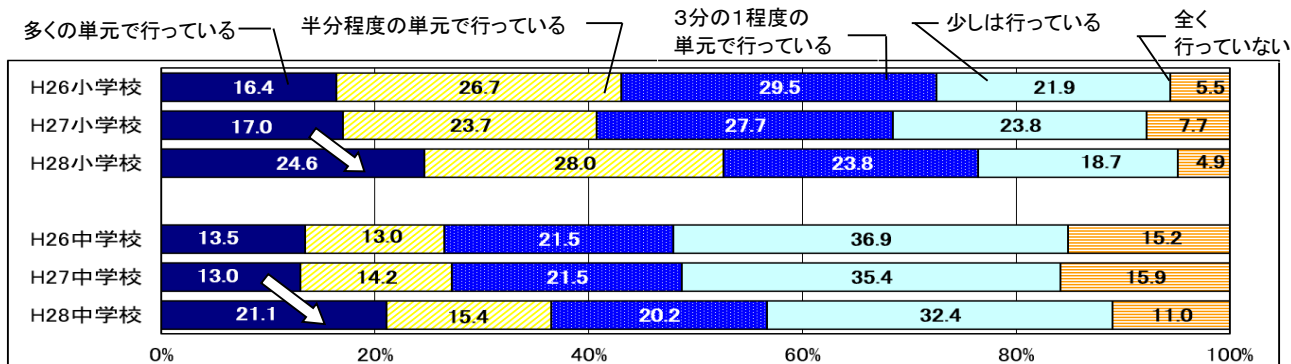


・参考として、教師意識調査において、発表や話し合い活動など表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」と回答した教師の割合は、小学校、中学校ともに前年度を上回っている。[グラフ 17-2]

[グラフ 18-1] 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい。平成 26～28 年度「同一学年」の経年比較



[グラフ 18-2] レポートや作文など、書いて表現する活動を取り入れた授業を行っていますか。 ※教師意識調査より 平成 26～28 年度の経年比較



・参考として、教師意識調査において、レポートや作文など、書いて表現する活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」と回答した教師の割合は小学校、中学校ともに前年度を上回っている。[グラフ 18-2]

[グラフ 16-2]

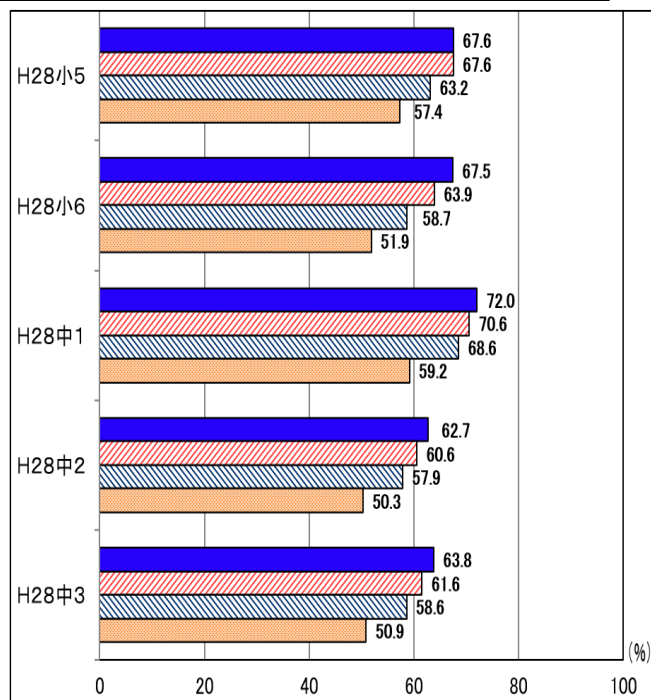
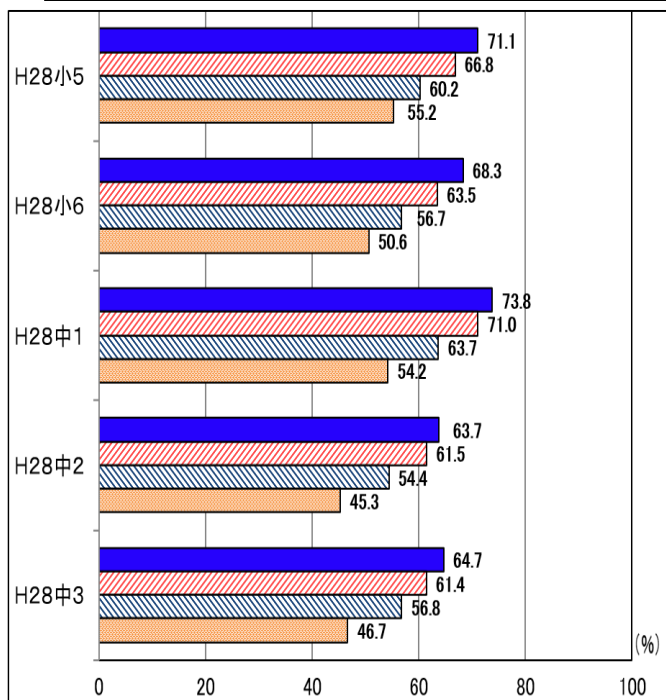
「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

[グラフ 17-3]

「授業では、学級の友達(生徒)の間に話し合う活動をよく行っていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

※児童生徒の回答は、上から

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」の順



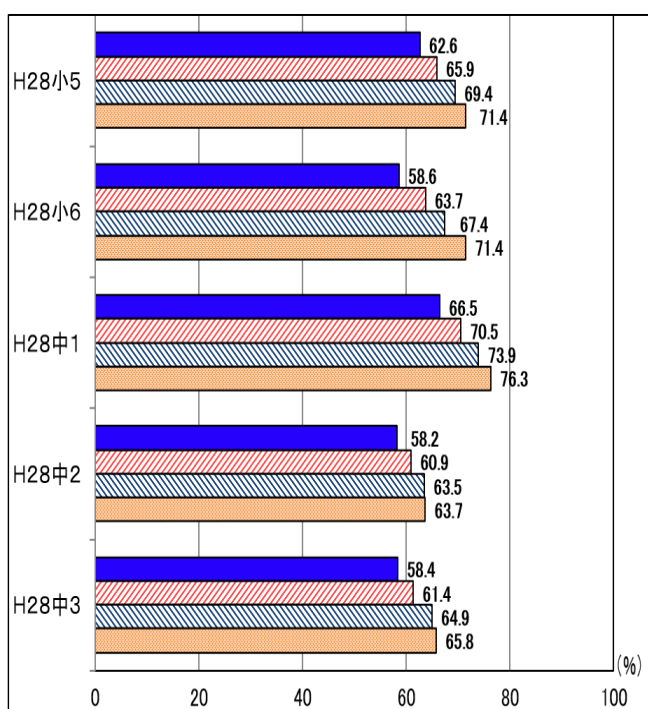
[グラフ 18-3]

「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

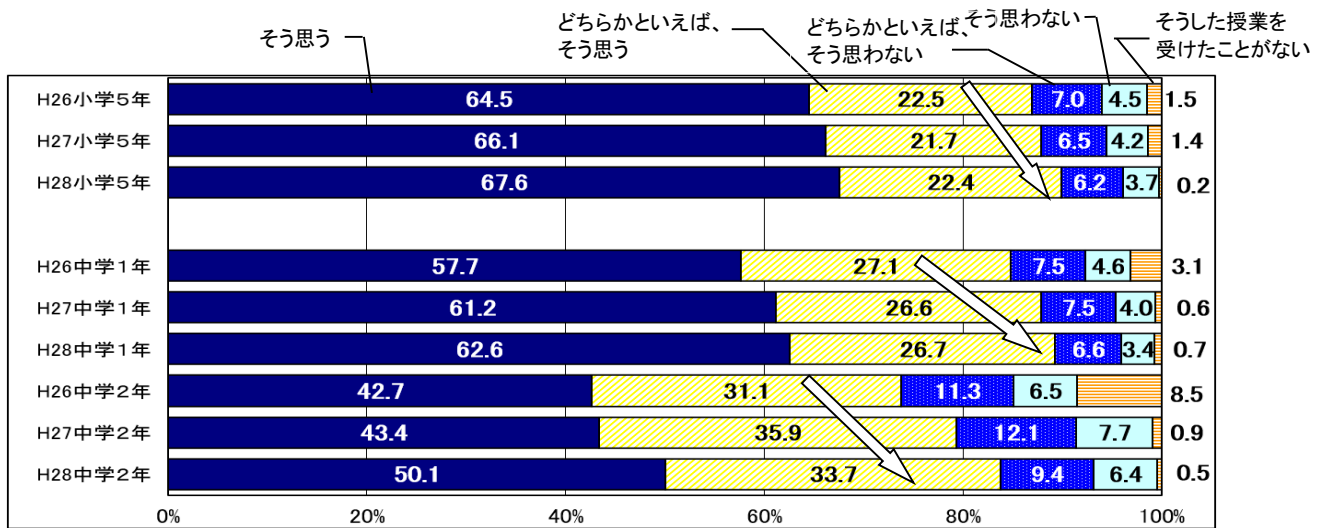
・「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と回答をした児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 16-2]

・「授業では、話し合う活動をよく行っていると思う」という問いについても、同様の傾向がみられる。[グラフ 17-3]

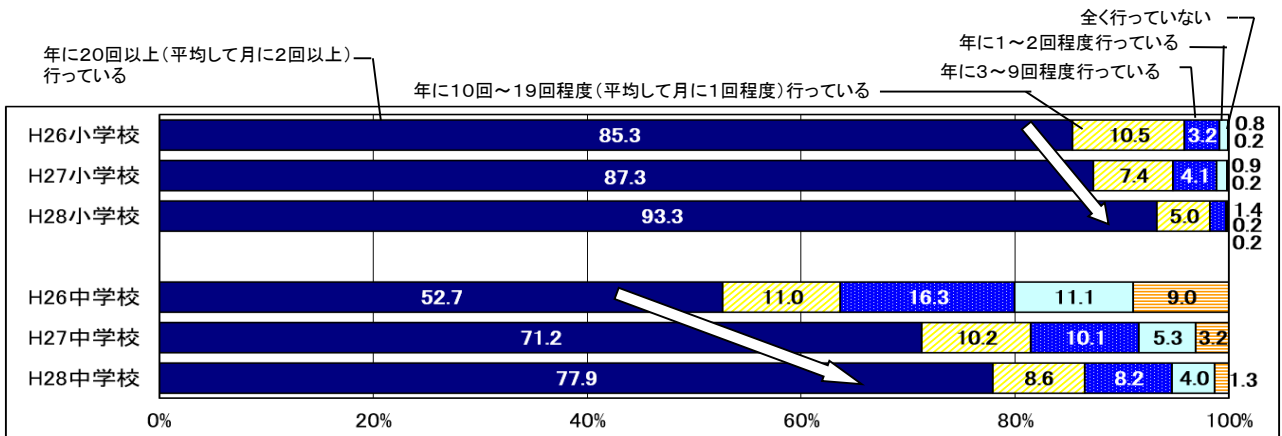
・「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して低い。[グラフ 18-3]



[グラフ 19-1] 授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった。平成 26～28 年度「同一学年」の経年比較

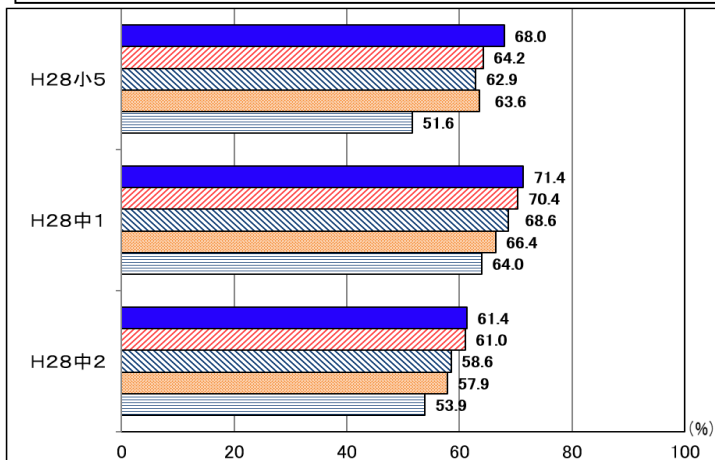


[グラフ 19-2] ICT 機器を活用した授業を行っていますか。  
※教師意識調査より 平成 26～28 年度の経年比較



※本調査における ICT 機器とは、コンピュータ、プロジェクター、電子黒板、実物投影機、書画カメラ、学習用 PC、デジタルビデオカメラなどを指す。

[グラフ 19-3] 「授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



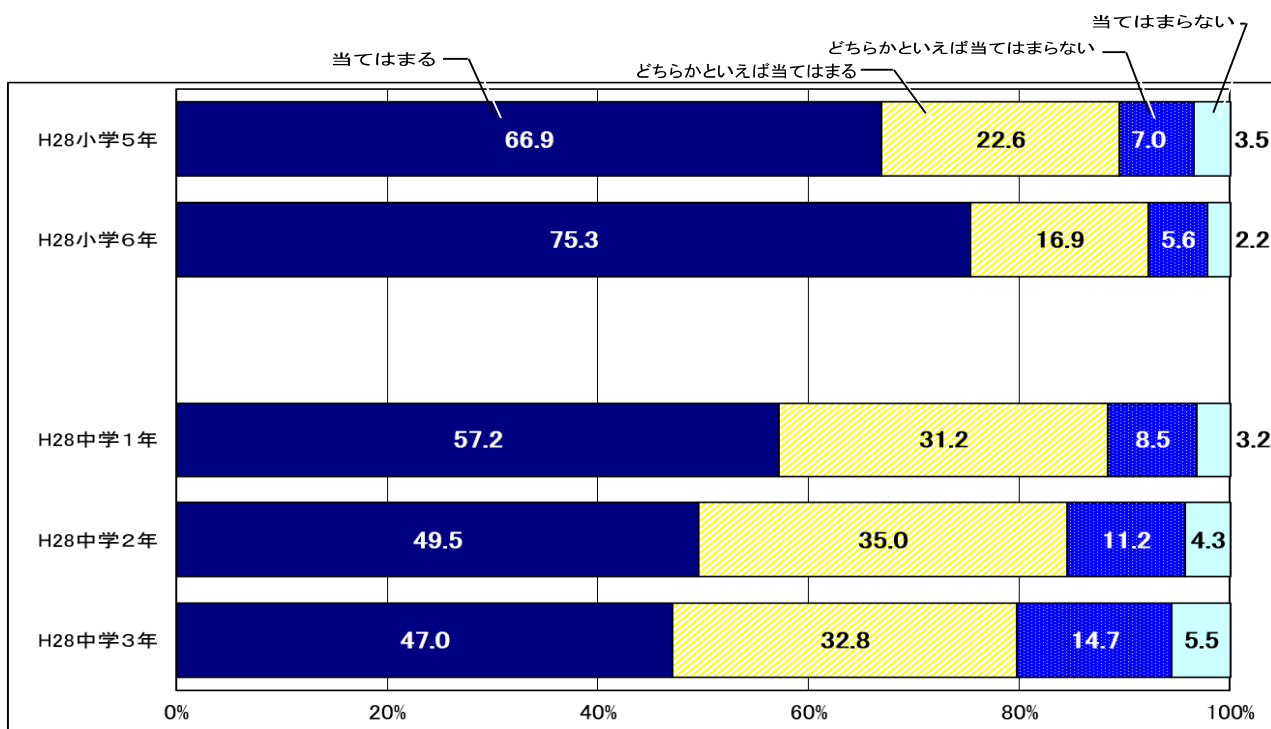
※児童生徒の回答は、上から「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」「そういう授業を受けたことがない」の順

・参考として、教師意識調査において、「年に 20 回以上行っている」と回答した教師の割合は、小学校、中学校ともに増加しており、小学校は約 9 割、中学校は約 8 割となっている。

[グラフ 19-2]

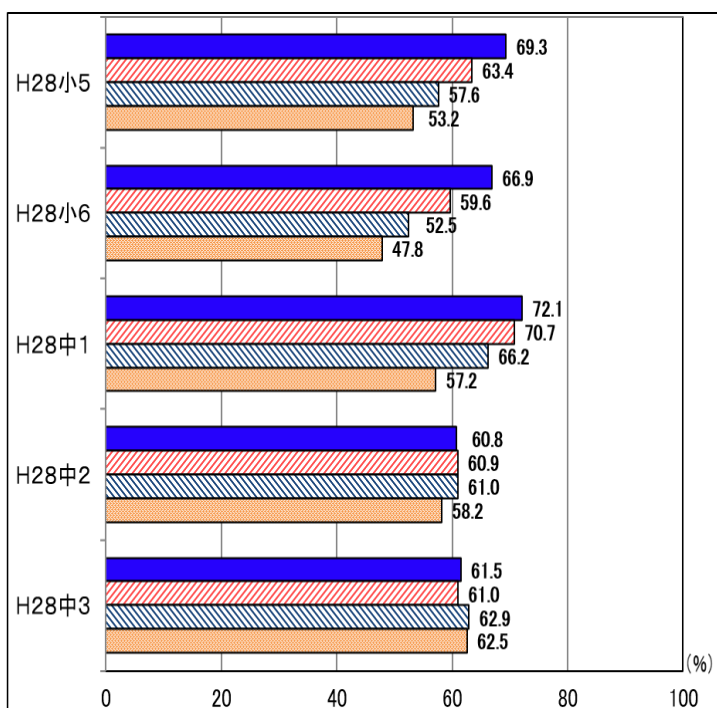
・「授業で、電子黒板などが使われるようになって分かりやすくなった」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い傾向にある。 [グラフ 19-3]

[グラフ 20-1] 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。



※ 平成 28 年度調査において、新設した質問項目であるため、経年のデータはない。

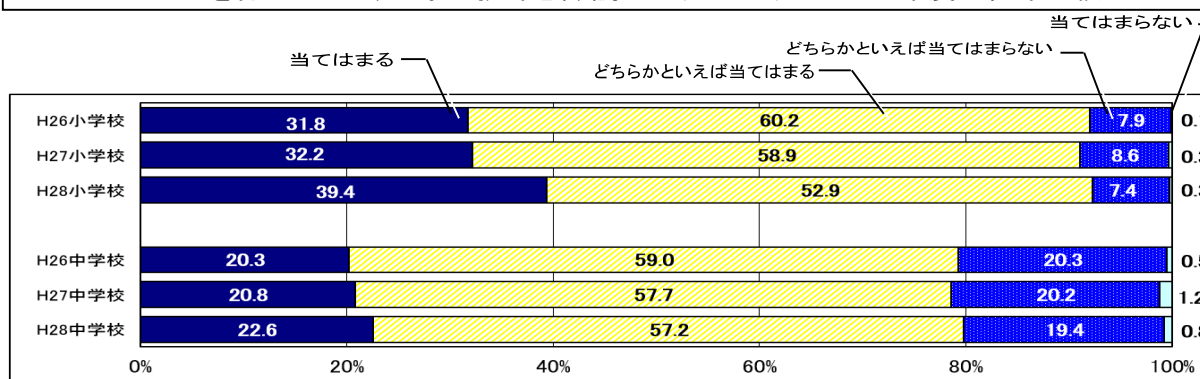
[グラフ 20-2] 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



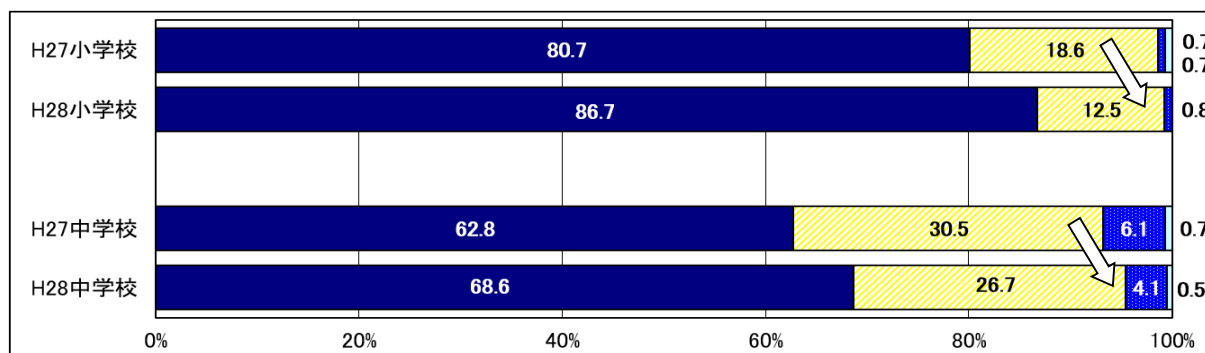
※児童生徒の回答は、  
上から「当てはまる」  
「どちらかといえば、当てはまる」  
「どちらかといえば、当てはまらない」  
「当てはまらない」の順

- ・小学校では、約9割、中学校では、約8～9割の児童生徒が肯定的な回答をしている。[グラフ 20-1]
- ・小学校と中学1年では、「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い。  
[グラフ 20-2]

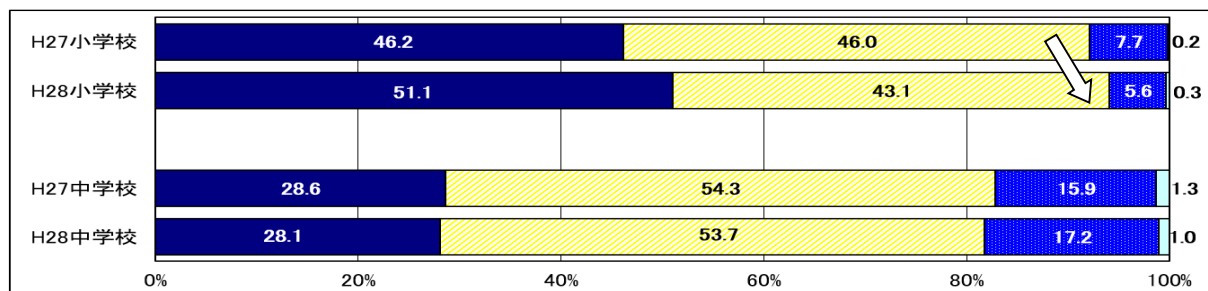
[グラフ 20-3] ノートのまとめ方や話し合いの進め方など、学習方法についてきめ細やかに指導を行っていますか。※教師意識調査より 平成 26～28 年度の経年比較



[グラフ 20-4] 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。※教師意識調査より 平成 27～28 年度の経年比較



[グラフ 20-5] 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。※教師意識調査より 平成 27～28 年度の経年比較



- 参考として、教師意識調査において、「ノートのまとめ方や話し合いの進め方など、学習方法についてきめ細やかに指導を行っていますか」という問いに対して、肯定的な回答をした教師の割合は小学校、中学校ともに前年度を上回っている。 [グラフ 20-3]
- 参考として、教師意識調査において、「授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか」という問いに対して、肯定的な回答をした教師の割合は小学校、中学校ともに前年度を上回っている。 [グラフ 20-4]
- 参考として、教師意識調査において、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか」という問いに対して、肯定的な回答をした教師の割合は小学校では前年度を上回っているが、中学校では前年度を下回っている。 [グラフ 20-5]